

■ 第1号議案：第6期活動報告の承認の件

学習会

ハイフレックス型4回を含め、目標を上回る計26回（累計91時間）開講できる見込みです。開講済みの25回の延べ参加者数は計831名、平均参加者数は約33.24名。通年の延べ参加者数は850名を超える見通しです。先生方に「通教生に伝えたいこと」を自由にご講義いただくことにより、在学生か卒業生かを問わず、有意義な「学業」の継続につながる有益な「道標」を提供する方針は、当期も堅持しました。学習会は、いずれも午後（13:55～17:45）の開講であり、提携している学生会横浜支部が同日に「午前の部」を開講したものが25回。曜日別では、土曜日が12回、日曜日が10回、祝日が4回となりました。

懇親会

コロナ禍の収束（神奈川県・東京都を緊急事態措置区域とする緊急事態宣言が解除されるのみならず、ワクチン・治療薬等の広範な普及によりインフルエンザ等と概ね同程度又はそれ以下のリスクの感染症として扱われつつある状況）を受け、年末のクリスマスイブの忘年会（当日の学習会講師である只木誠先生もご参加）以降、新年会（同・佐藤信行先生もご参加）、冬季懇親会（同・山田省三先生もご参加）、年度末慰労会（同・鮎田実先生もご参加）、と、毎月1回（ツキイチ）のペースにて、懇親会を積極的に開催することができました。

その他

コロナ禍の収束を受け、年末から、対面授業方式の学習会とオンライン学習会を受講者が選択できるハイフレックス型の学習会を毎月1回（ツキイチ）のペースにて開講。対面授業方式の学習会を再開しつつ、その全てにオンライン学習会としても参加可能とすることにより、対面授業方式の学習会の需要に応えつつも、遠隔地在住の方、妊娠中・育児中・療養中など様々なご事情から対面授業方式の学習会に参加できない方にも継続して学習の機会を提供できたことは、当期の最大の成果といえます。一方、特定の役員への負荷の集中は続いており、より一層の運営実務の継承・シェアが課題となっています。対外的には、善隣友好路線を基礎としつつ、当期も是々非々で対応しました。総論として、秋まではコロナ禍に伴う様々な制約の多いなか、年末以降はコロナ禍の収束を踏まえつつ、安定した活動を維持することができました。